

睦月 愛南文芸

城辺俳句会

麻尼車くるりと廻す十二月
水掻きて池うごくくなり鴨の群れ
散歩道釣瓶落しの夕まぐれ
新米に味噌汁の湯気夫婦箸
萩こぼれ踏むをためらう坂の道
秋雨の煙る堂塔坂の街
登り来て鐘楼赤しもみぢ雨

加納 幸子
宮田志賀子
山田 静恵
北原 桃代
出口 恵子
大浜 紀子
大和田いそ子

内海俳句会

屏風絵の松に目覚めぬ初景色
初御空城燦然と明け初めぬ
現し世の夜明けを叫ぶ竜馬像
初空え吟朗々と偲せる

太田 信子
岩森十志子

城辺川柳会

菊の花盛つて美し弥陀の前

栄華

はじめまして。赤ちゃん。

11月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

ご冥福をお祈りします。

11月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	享年
-----	--------	----

母の命日仏間に野菊香り満ち
菊薫る佳き日に祖父になりました
能子 拡

道端のそぼくな野菊心ひく
菊眺め独り手酌のうまい酒
富士子

侘び住まい菊一輪がさりげない
菊毅然私秘密は守ります
つるみ 百代

姫に殿菊人形とハイチーズ
こぼれびを浴びて群れ咲く野辺の菊
佐賀 暁

菊一輪茶室に気品ただよわせ
野菊咲き秋風吹いて手折り来る
一会 律子

新しくの葉短歌会(なすな)

悲しみのまだつづきある吾のもと妹満中陰の品届きぬ
夜毎聴くわれにハンク・ウィリアムスのCD三枚子の買ひくれぬ
ありがとうと笑顔で母は話します環境の良き施設を訪えば
八年を六時に孫らを送り来し夫はぼつりと「あと百日か」
米袋を子どものごとく背負いたる八十路の兄の足取り確か

藤森多摩子
松比良スミ子
高橋千代子
宮下喜久子
河上 明美



※上記情報は、広報誌掲載に対して、ご家族等に同意をいただいております。